



# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 トーソー株式会社  
 コード番号 5956 URL <http://www.toso.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大槻 保人

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 前川 圭二

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-3552-1211

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,951	2.6	204	27.5	159	45.6	90	—
23年3月期第2四半期	9,696	9.9	160	—	109	—	△23	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 52百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △173百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.67	—
23年3月期第2四半期	△2.11	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	18,162	8,880	48.7
23年3月期	18,597	8,845	47.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,851百万円 23年3月期 8,817百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	0.8	1,100	12.8	1,050	10.1	600	△27.7	54.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) トーソーヨーロッパS.A.S.、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	11,897,600 株	23年3月期	11,897,600 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,439,490 株	23年3月期	1,438,801 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	10,458,380 株	23年3月期2Q	11,344,313 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中でありま

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づいて算出しており、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災による経済活動の停滞から持ち直しているものの、為替や海外経済の不透明感などから先行きは予断を許さない状況が続いております。

当社グループの業績に大きく影響する新設住宅着工戸数は、震災発生後に一時的な建築資材供給の遅れや住宅取得意欲の低下がみられたものの、住宅ローン減税や住宅エコポイント、フラット35Sの金利優遇など政府による住宅関連の景気刺激策の後押しもあり、前年を上回る推移となりました。

このような環境の下で、当社グループは新製品の投入や展示会開催等の営業活動に取り組み、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,951百万円（前年同期比2.6%増加）、営業損益は204百万円の利益（前年同期比27.5%増加）、経常損益は159百万円の利益（前年同期比45.6%増加）、四半期純損益は90百万円の利益（前年同期は23百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (室内装飾関連事業)

室内装飾関連事業の売上高は9,783百万円（前年同期比2.5%増加）、セグメント利益は195百万円（前年同期比34.2%増加）となりました。

売上高は、新製品を中心とした営業活動の強化に加えて、省エネが社会的課題となったことで日差しを遮るブラインド類の需要が喚起されたことなどから前年同期を上回りました。

商品面では主力のカーテンレールでデザイン性と機能性を兼ね揃えた装飾性カーテンレール「レガートスクエア」を発売したほか、ブラインド類でも質感と価格を両立したベーシック商品「コルト」シリーズに新たに横型ブラインドを追加するなど商品ラインナップを一層強化いたしました。また、これらの新製品を早期に浸透させるため、全国各地で展示会を開催するなど積極的な営業活動を行いました。

なお、中長期で注力している海外市場への販売は、物件獲得数の減少により低調な推移となりました。

セグメント利益は、売上高の増加に加えて経費節減に努めた結果、増益となりました。

#### (その他の事業)

その他の事業の売上高は167百万円（前年同期比9.8%増加）、セグメント利益は11百万円（前年同期比26.3%減少）となりました。

ステッキを中心とした介護用品の販売が好調に推移した結果、売上高は前年同期を上回りましたが、セグメント損益は営業費用の増加により減益となりました。

なお、当期よりセグメントの一部を変更し、従来「その他の事業」に含まれておりましたプラスチックチェーン等の仕入販売は、「室内装飾関連事業」に変更いたしました。各セグメント業績の前年同期実績についても変更後のセグメントに組み替えております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産については、機械装置及び運搬具や工具、器具及び備品の増加がありましたが受取手形及び売掛金や支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して435百万円（2.3%）減少し、18,162百万円となりました。

負債については、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して470百万円（4.8%）減少し、9,281百万円となりました。

純資産については利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末と比較して35百万円（0.4%）増加し、8,880百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間における業績の推移ならびに事業を取り巻く環境等から、平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想を平成23年11月7日付で修正しております。通期の業績予想については、平成23年5月16日付当初発表より変更はありません。なお、詳細につきましては、平成23年11月7日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間より、平成23年8月に設立したトーソーヨーロッパS. A. S. を新たに連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,097,131	3,461,639
受取手形及び売掛金	7,693,613	6,761,423
商品及び製品	1,266,674	1,186,785
仕掛品	216,557	223,437
原材料及び貯蔵品	1,683,244	1,778,547
繰延税金資産	365,102	494,312
その他	231,392	221,834
貸倒引当金	△8,353	△6,623
流動資産合計	14,545,363	14,121,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,631,547	4,632,273
減価償却累計額	△3,842,441	△3,843,428
建物及び構築物(純額)	789,106	788,845
機械装置及び運搬具	3,000,907	3,152,860
減価償却累計額	△2,660,109	△2,672,462
機械装置及び運搬具(純額)	340,797	480,397
工具、器具及び備品	4,087,081	4,227,440
減価償却累計額	△3,905,359	△3,957,522
工具、器具及び備品(純額)	181,722	269,918
土地	1,243,344	1,243,344
リース資産	370,021	398,047
減価償却累計額	△63,678	△101,190
リース資産(純額)	306,343	296,857
建設仮勘定	51,912	22,154
有形固定資産合計	2,913,227	3,101,517
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	256,808	244,066
長期貸付金	4,116	3,103
繰延税金資産	319,871	185,560
その他	364,643	341,215
貸倒引当金	△63,701	△65,155
投資その他の資産合計	881,738	708,791
固定資産合計	4,052,609	4,041,472
資産合計	18,597,972	18,162,828

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,034,334	1,678,424
短期借入金	1,312,880	1,311,460
1年内返済予定の長期借入金	412,200	432,200
1年内償還予定の社債	170,000	115,000
リース債務	73,040	78,704
未払金	746,762	841,882
未払費用	632,758	581,630
未払法人税等	121,089	56,460
役員賞与引当金	1,799	—
その他	337,778	343,705
流動負債合計	5,842,644	5,439,467
固定負債		
社債	2,400,000	2,370,000
長期借入金	447,950	410,850
長期リース債務	234,923	220,326
退職給付引当金	432,469	443,550
役員退職慰労引当金	203,028	198,578
資産除去債務	110,456	111,613
その他	80,826	87,588
固定負債合計	3,909,654	3,842,507
負債合計	9,752,299	9,281,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,170,000	1,170,000
資本剰余金	1,344,862	1,344,862
利益剰余金	6,976,691	7,029,684
自己株式	△385,348	△385,595
自己株式申込証拠金	—	18,500
株主資本合計	9,106,205	9,177,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,131	20,407
繰延ヘッジ損益	△127,186	△151,183
為替換算調整勘定	△193,885	△194,755
その他の包括利益累計額合計	△288,939	△325,530
少数株主持分	28,407	28,931
純資産合計	8,845,673	8,880,852
負債純資産合計	18,597,972	18,162,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,696,038	9,951,344
売上原価	5,437,318	5,675,595
売上総利益	4,258,719	4,275,749
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	778,477	789,508
広告宣伝費	287,455	209,276
販売促進費	253,930	224,466
役員報酬	64,108	61,606
従業員給料及び手当	1,147,940	1,169,796
従業員賞与	261,965	299,159
退職給付費用	91,099	85,333
役員退職慰労引当金繰入額	9,050	8,380
福利厚生費	287,469	285,295
減価償却費	66,230	93,041
賃借料	197,575	181,450
旅費及び交通費	185,157	196,999
研究開発費	15,378	18,812
貸倒引当金繰入額	1,747	—
その他	450,555	447,868
販売費及び一般管理費合計	4,098,141	4,070,994
営業利益	160,578	204,755
営業外収益		
受取利息	2,033	1,552
受取配当金	5,330	4,436
貸倒引当金戻入額	—	5,483
仕入割引	4,801	4,958
書籍販売収入	10,896	6,829
その他	30,618	16,481
営業外収益合計	53,681	39,741
営業外費用		
支払利息	22,216	18,997
社債利息	15,337	15,657
売上割引	6,665	5,411
書籍販売原価	19,380	14,935
為替差損	13,227	13,993
その他	27,581	15,564
営業外費用合計	104,408	84,560
経常利益	109,851	159,936



(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	18	259
特別利益合計	18	259
特別損失		
固定資産売却損	121	16
固定資産除却損	886	6,422
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	97,516	—
特別損失合計	98,523	6,439
税金等調整前四半期純利益	11,345	153,756
法人税、住民税及び事業税	51,180	45,815
法人税等調整額	△14,977	18,458
法人税等合計	36,202	64,273
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△24,857	89,483
少数株主損失(△)	△883	△1,200
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,973	90,683

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△24,857	89,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52,334	△11,723
繰延ヘッジ損益	△78,563	△23,997
為替換算調整勘定	△18,175	△806
その他の包括利益合計	△149,073	△36,527
四半期包括利益	△173,930	52,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△172,677	54,092
少数株主に係る四半期包括利益	△1,253	△1,137

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,345	153,756
減価償却費	194,297	256,834
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	97,516	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,121	△275
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,080	△1,799
退職給付引当金の増減額(△は減少)	44,977	22,274
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,050	△4,450
受取利息及び受取配当金	△7,364	△5,988
支払利息	37,553	34,654
投資有価証券評価損益(△は益)	—	4,707
固定資産売却損益(△は益)	103	△242
固定資産除却損	886	6,422
売上債権の増減額(△は増加)	△15,176	931,357
たな卸資産の増減額(△は増加)	△180,722	△23,696
仕入債務の増減額(△は減少)	254,171	△354,605
未払金の増減額(△は減少)	△10,034	△26,640
未払費用の増減額(△は減少)	200,002	△50,796
その他	△83,645	△5,682
小計	544,758	935,829
利息及び配当金の受取額	7,377	5,988
利息の支払額	△38,001	△34,672
法人税等の支払額	△37,531	△114,314
営業活動によるキャッシュ・フロー	476,602	792,830
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20,445	—
定期預金の払戻による収入	60,665	—
有形固定資産の取得による支出	△79,691	△270,321
有形固定資産の売却による収入	27	658
無形固定資産の取得による支出	△47,633	△2,823
投資有価証券の取得による支出	△2,490	△2,662
貸付けによる支出	△7,187	△334
貸付金の回収による収入	4,221	2,888
差入保証金の回収による収入	4,586	20,715
その他	7,434	5,166
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80,512	△246,713
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500,000	—
リース債務の返済による支出	△9,534	△36,959
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△284,400	△217,100
社債の発行による収入	780,160	—
社債の償還による支出	△500,000	△85,000
自己株式の売却による収入	—	18,500
自己株式の取得による支出	△347,480	△247
配当金の支払額	△35,300	△52,293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△696,555	△173,101
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,296	△8,508
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△309,762	364,507
現金及び現金同等物の期首残高	3,339,270	3,097,131
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,029,508	3,461,639

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	
当社は平成23年9月12日開催の取締役会の決議に基づき、下記のとおり第三者割当による自己株式の処分を実施いたしました。	
(1) 処分期日	平成23年10月3日
(2) 処分株式数	普通株式 250,000 株
(3) 処分価額	1株につき370円
(4) 資金調達額	92,500,000円
(5) 募集又は処分方法	第三者割当による処分
(6) 処分先	みずほ信託銀行株式会社 200,000株 中村 潔 50,000株
(7) 処分の目的および理由	当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、自己株式を1,439,490株保有しております。今般、今後における事業展開を鑑み、みずほ信託銀行株式会社との更なる関係強化を図ることにより、当社の資金調達先が増加するとともに、同行の豊富なネットワークを通じた案件紹介等により、当社製品の納入物件数を拡大でき、予てからの懸案であった非住宅分野における事業基盤の強化などが期待できるものと判断し同行を割当先に選定いたしました。また、当社代表取締役中村潔については、当社の業績向上への貢献意欲や、経営責任の明確化、株主重視の経営意識を一層高めることを目的として、割当先として選定いたしました。